



株式会社キッズ・コーポレーション グループインに関する補足資料

株式会社ワンキャリア（東証グロース：4377）

2026年3月26日



目次

1. 本グループインの概要
2. 本グループインの事業シナジー効果

目次

1. 本グループインの概要

2. 本グループインの事業シナジー効果

はじめに

エグゼクティブサマリー

- ✓ 高校生向け進学支援事業などを展開する、株式会社キッズ・コーポレーション（以降キッズ社）をグループイン
- ✓ キッズ社は全国 5,000校（大学・短大・専門 1,500校/高校 3,500校）に及ぶ学校ネットワークを保有

- ✓ EV/調整後EBITDA¹倍率5.0倍 の適正価格で取得²
- ✓ キッズ社単体で年間売上 約26億円~、年間営業利益 約2.8億円~を想定

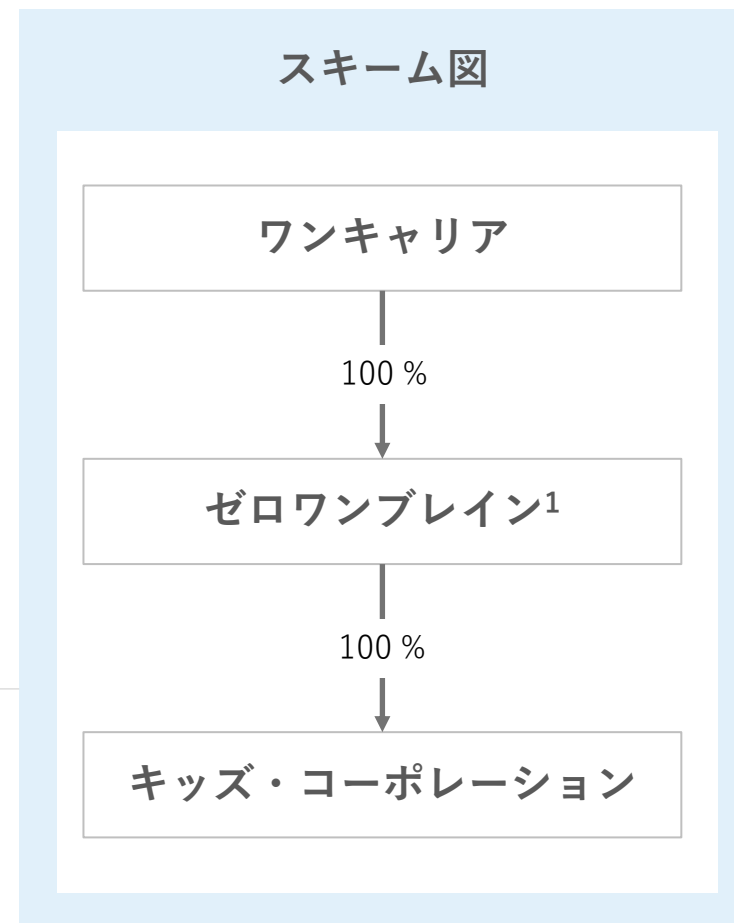
- ✓ 全国の大学・短大・専門学校と連携し、ワンキャリアの会員基盤拡大を目指す
- ✓ 進学領域へ事業・プラットフォームを拡張し、ビジネス領域を拡大

1. 調整後EBITDAは調整前EBITDA（2025年3月期実績ベース約3億円）に当社グループイン後に速やかに削減が可能なコスト（退職役員報酬等）、追加で発生することが予定されているコスト（管理費用等）を加味して算出。
2. ネットキャッシュ約30億円。

本グループインの概要

| | | | | |
|------|------|---------------------------------|--|--|
| 案件概要 | 社名 | 株式会社キッズ・コーポレーション | | |
| | 事業内容 | 高校・高校生を対象とした進学支援 企業向けの高卒採用支援 | | |
| | 譲渡予定 | 2026年7月31日 | | |
| | 取得比率 | 100% | | |

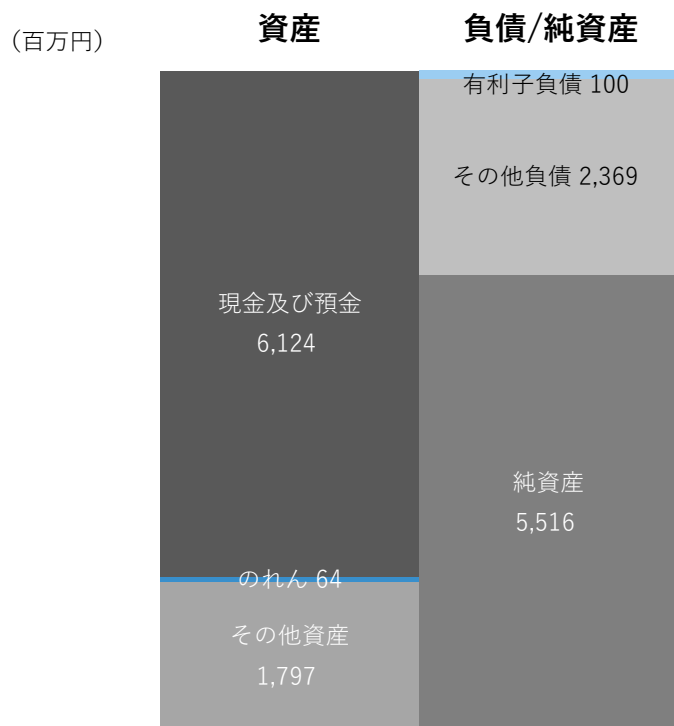
| | | | | |
|-------------|--------------|--------|----------------|---------|
| 年間 業績見込み | 想定売上 (単体) | 約26億円~ | 想定営業利益 (単体) | 約2.8億円~ |
|-------------|--------------|--------|----------------|---------|



当社連結BSへのインパクト

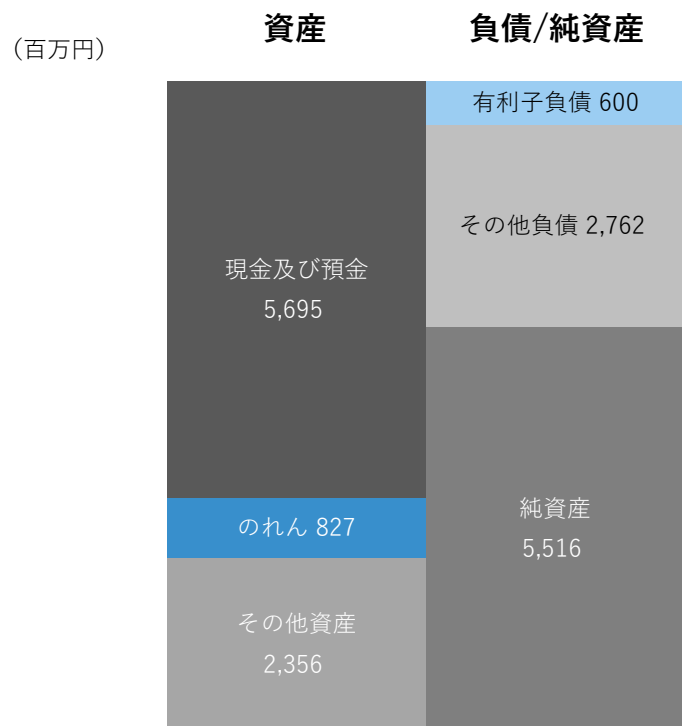
本グループインは財務規律を遵守し実行。

連結貸借対照表（25年12月末時点）



自己資本比率 **69.1%**

連結貸借対照表（本グループイン実施後の想定）¹



自己資本比率 **62.1%**

のれん/
純資産 **14.9%**
(のれん/純資産は50%未満)

1件当たり
買収額 **財務規律遵守**
(時価総額の15%以内)

企業サマリー



株式会社キッズ・コーポレーション



| | |
|-------|----------------------------------|
| 代表者 | 代表取締役社長 芦北章吾 |
| 設立 | 1994年1月26日 |
| 本社所在地 | 京都府京都市中京区烏丸通四条上る笋町689番地 京都御幸ビル4F |

事業サマリー

教育機関支援事業

- 進学支援
 - ✓ 年間4,500回の進学ガイダンス・講演会の実績
 - ✓ キッズ社の全売上のうち約9割を進学事業が構成
- 高卒就職支援
 - ✓ 累計500回以上の高校生向け就職ガイダンスの実績



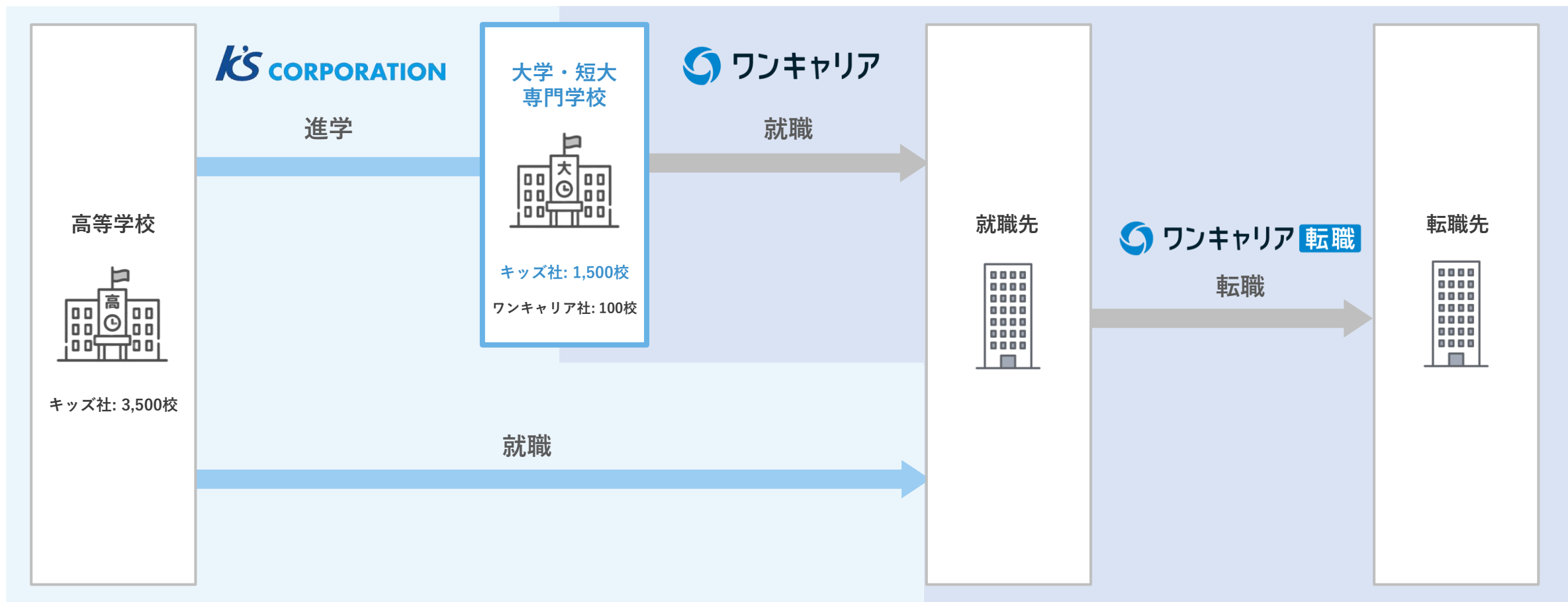
キッズ社の強み

- ✓ 創業30年で築いた教育機関との信頼基盤
- ✓ 大学・短大・専門学校 1,500校、高校 3,500校に及ぶ全国の学校ネットワークを保有



キッズ社とワンキャリア社のビジネス領域

キッズ社は高校 3,500校、大学・短大・専門学校 1,500校に及ぶ、全国の学校ネットワークを保有。教育領域と新卒採用領域がシームレスに連携。



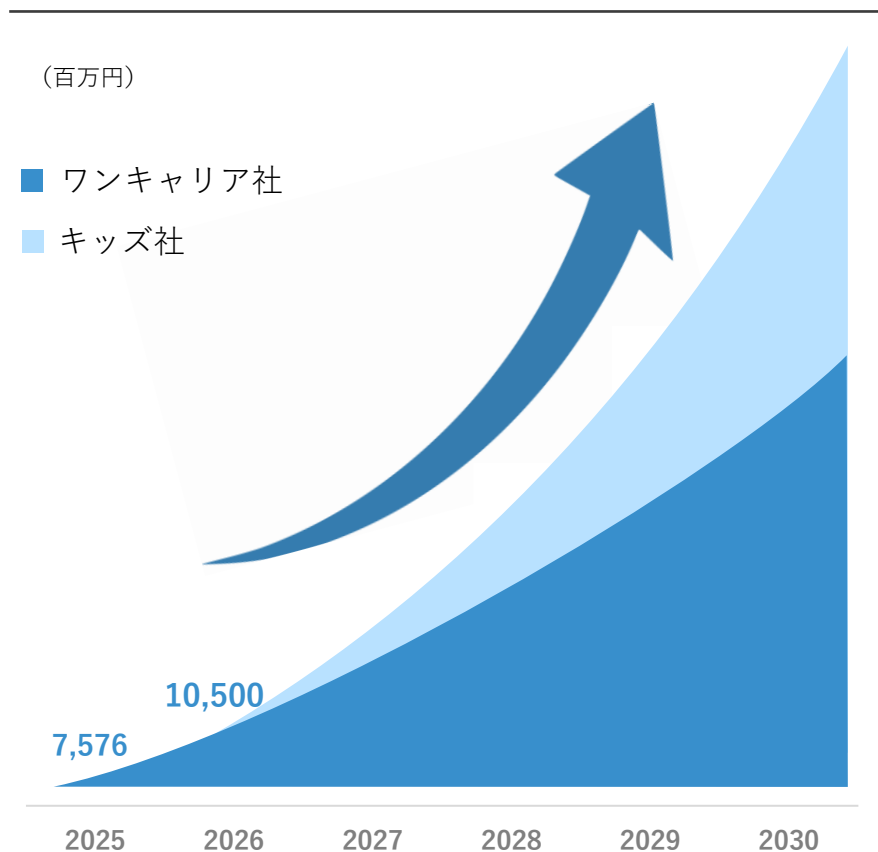
目次

1. 本グループインの概要
2. 本グループインの事業シナジー効果

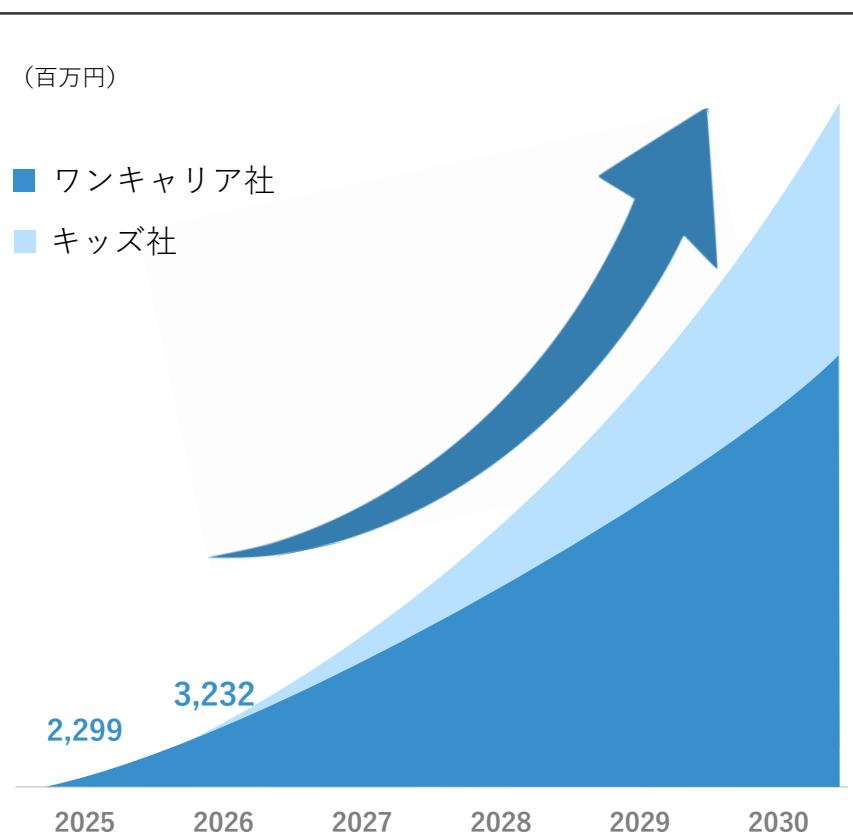
非連続成長の実現

キッズ社単体で、FY26は年間売上 約26億円~、年間営業利益 約2.8億円~を想定。
両社のシナジーにより、非連続な成長を実現する。

売上高¹

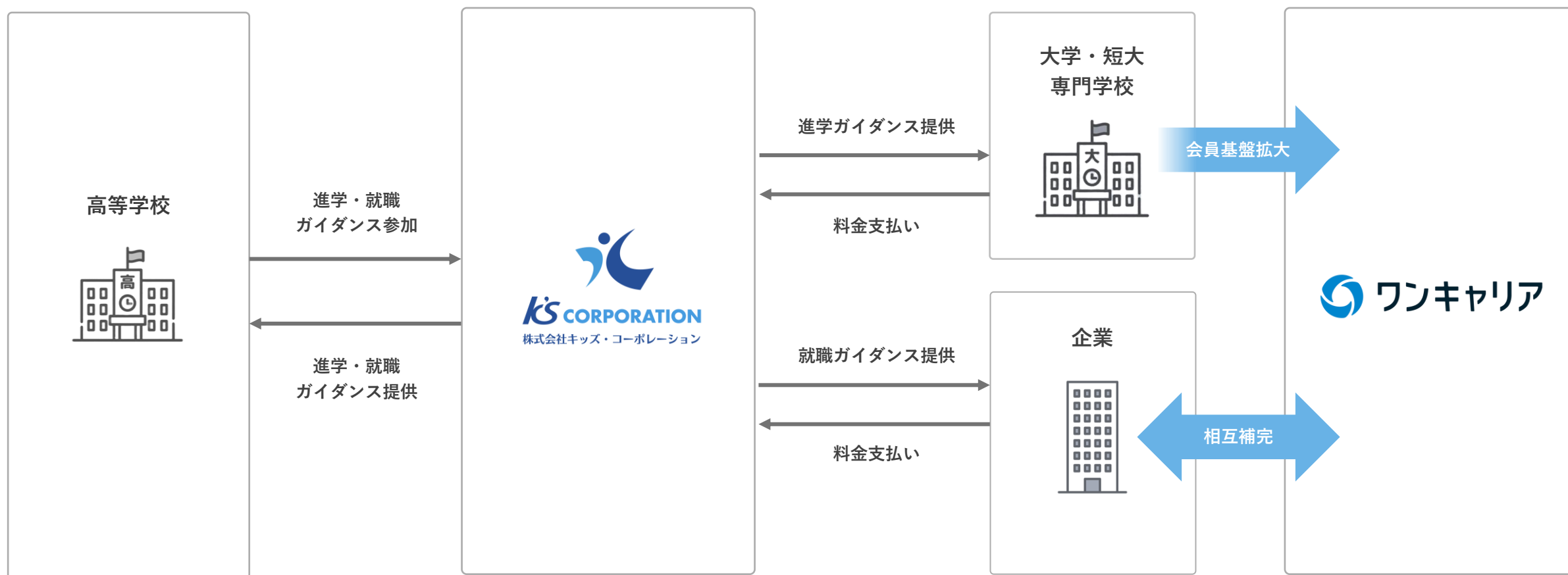


EBITDA^{1,2}



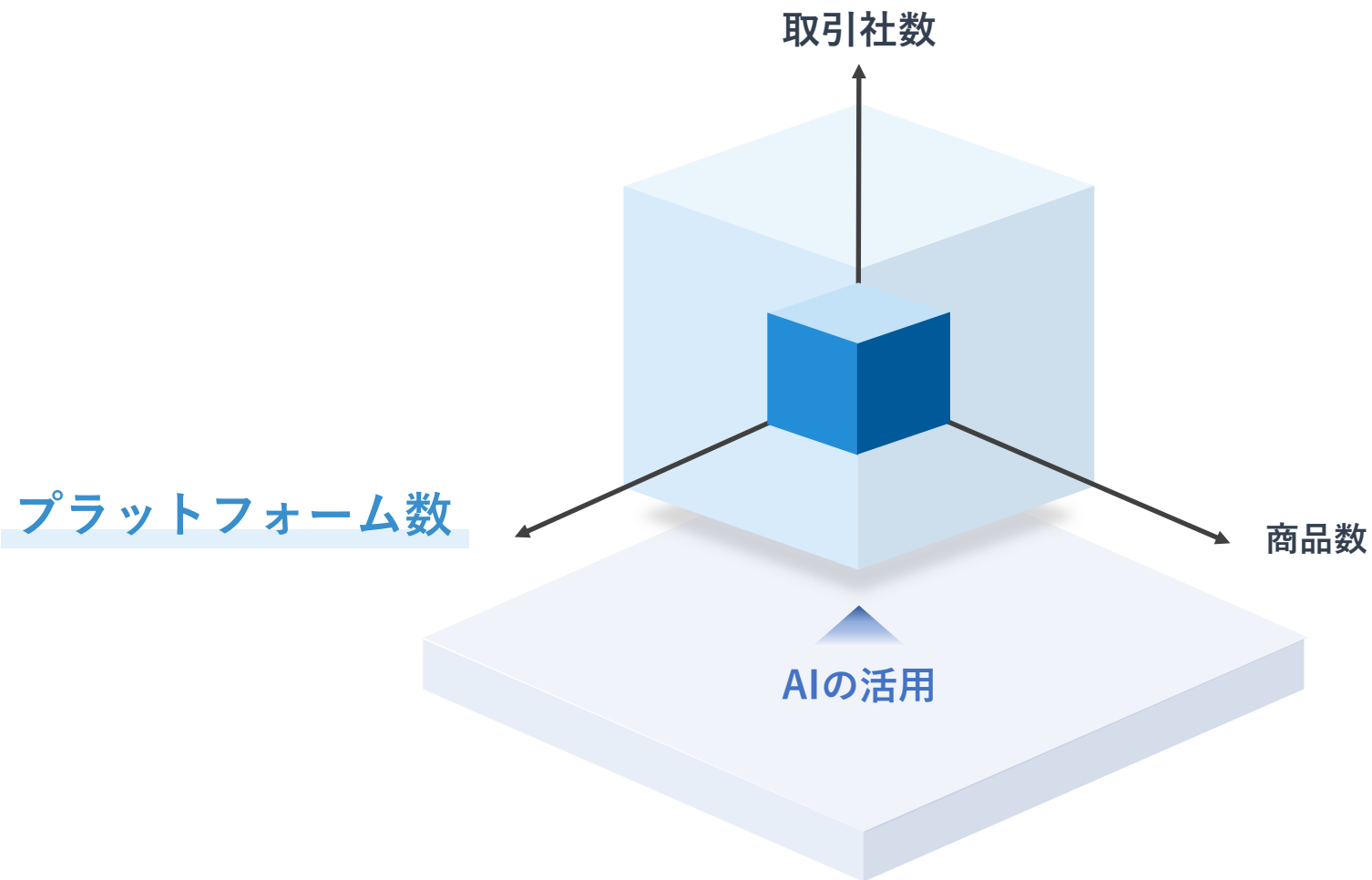
キッズ社とワンキャリア社が生み出すシナジー

キッズ社が有する全国の大学・短大・専門学校とのネットワークを活かし、ワンキャリアの会員基盤を拡大。キッズ社とワンキャリア社が相互に補完しあい、「顧客数の拡大・顧客単価の向上」を目指す。



プラットフォームの拡張

本件は成長戦略の要の1つである「プラットフォームの拡張」に位置づけられ、事業の非連続な成長を牽引。



Q&A: 業績への影響に関して

Q. 今回のグループインは、2026年12月期の業績にどの程度寄与するか。

予定通り実行された場合、2026年12月期の第3四半期より当社の連結子会社となる予定です。

本取得による2026年12月期の当期業績予想に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

Q. のれんの償却方針や、利益への影響はどのように考えるべきか。

のれんの具体的な金額、償却期間等を含むPPA（取得価額の配分）については現在精査中となりますが、本グループインに伴い発生するのれんと無形資産の合計額は、約7~8億円と試算しております。

同様に、本取得による2026年12月期の当期業績予想に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

Q&A: シナジーに関して

Q. キッズ社とのシナジーはどのように出すのか。

キッズ社の強固な学校ネットワークのさらなる価値向上と両社の顧客基盤の相互補完により、グループ全体でのシナジー発揮を目指します。

1つ目は、キッズ社が保有する1,500校に及ぶ、全国の大学・短大・専門学校ネットワークとの連携により、ワンキャリア社が従来獲得できていなかった会員基盤の拡大を目指します。

2つ目は、キッズ社とワンキャリア社が相互に補完しあい、顧客数の拡大・顧客単価の向上を目指します。具体的には、ワンキャリア社はキッズ社のアセットを活用することで、業界・エリアを強化し、売上拡大を実現します。本グループインを機に、これまで開拓余地のあった介護福祉、物流、小売、飲食等への営業活動を強化します。また、キッズ社においても、ワンキャリア社の顧客基盤を活かし、売上拡大を図ります。

3つ目に、ワンキャリア社が効率的なソフトウェア開発をすることで、キッズ社のサービス拡充を図ります。

上記の事業シナジーの最大化を目指す土台として、ガバナンス強化を図り、強固な経営基盤を構築します。

本資料の取り扱いについて

本資料は、株式会社ワンキャリア（以下「当社グループ」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず当社グループの発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競争、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報又は第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料には、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていますが、これらは、本資料の作成時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載される当社グループにおける潜在的な収益機会に関する情報は、一定の仮定に基づき当社グループが現時点において想定する将来的な収益機会に関する潜在的な可能性（規模感）を示すものに過ぎず、特定の時点における当社の業績についての予想、計画、見込、目標等を示すものではなく、また、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社グループにおける対応する指標と直接比較することはできません。今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。

本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

お問い合わせ先

株式・IR情報に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

株式会社ワンキャリア
経営管理部 IR担当
ir@onecareer.jp